

イスラエルの最新情報

2010年10月3日

ジェノバでの抗議行動

ユヴァル・ヤナイ

9月28日火曜日、エルサレム司法研究所はスイスのユダヤ人組織と共に、ジェノバにある国連と赤十字本部の前で行うイベントを共催しました。

この集会はギラッド・シャリート兵士の面会権をめぐり、ハマスとの交渉において赤十字の二重基準(ダブル・スタンダード)に対して抗議するものです。4年以上もギラッドは隔離された状態で監禁されており、一度も面会が行われませんでした。その一方で、テロリズムを誘発させたことでイスラエル警察によって手配されている3人のハマス指導者は、エルサレムにある赤十字の事務所で保護を受けているのです。そこに彼らは店を設け、ビジネスを行い、海外から来客の訪問を受けています。

群衆の中に、シャリートさんの家族、世界中のクリスチャン、ジェノバに住むユダヤ人がシュロの枝(ルラヴ)を持って集まり、またイスラエル人観光客や地元のメシアニックジューの大集団がいました。世界各国の報道機関とイスラエルのチャンネル10がこのイベントを報道しました。ヨエル・シャリート(ギラッドの兄弟)は喉を詰まらせ、涙ながらに語りました。彼の後ろにエルサレム司法研究所の法務官であるカレブ・メイヤーズが続きました。クリスチャンの指導者とジェノバ在住のハバッド派のラビが祈りを捧げました。

イスラエルと神に対する愛がそこにありました。私はそこにゼカリヤ14:16の預言的な構図を、まだ、エルサレムではありませんが、ジェノバで行われたのを見ました。ゲートウェイ・ビヨンド(注)のリベカ・N師がヘブライ語でハティクバを歌った時、それは歴史的な瞬間でした。私が知っている限り、ジェノバにある国連の前でイスラエル国家が歌われたのは初めてではないかと思います。

注: Gateway Beyond: 「門の彼方」と訳せます。この団体はギリシャ領キプロス島にある。アメリカのメシアニック団体であるティックーン・インターナショナルとパートナーを組んでいる弟子訓練を行う団体。ユヴァル・ヤナイ師はここで訓練を受け、現在リバイブ・イスラエルに在籍する。

リベカが歌った時、神の霊が群衆の上に降りてきて、聖なる雰囲気はその場所を満たしました。

ヴァンダープール家

私の信仰の英雄の一人はデビッド・ヴァンダープールと彼の家族です。彼らは移動式災害救済医療 (Mobile Medical Disaster Relief) と呼ぶすばらしい活動を運営しています。彼らはアフリカで奉仕していましたが、最近ではハイチの大地震の後、そこでの被災者を助けています。

彼らはピープル・マガジン(訳注:アメリカの雑誌)の読者によるヒーロー賞候補となっています。もし彼らが受賞したら、1万ドルは被災者を助けるために寄付されます。さらに、それは主に栄光を与えるものです。どうか皆さんお時間を取って頂き、ここを[クリック](#)して彼らに投票して頂きたいのです。ヴァンダープール家とMMDRについてさらに情報を得たい方は、こちらの[サイト](#)をご覧ください。

People's Magazine: <https://styleentertainment.timeinc.net/people/readerhero/>

Mobile Medical Disaster Relief: <http://www.mmdr.org/>

悔い改めの七つの実

アシェル・イントレーター

九つの霊の実についてはガラテヤ 5:22「**御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。**」に述べられていますが、それは個人がその人生の中で聖霊の影響の下、信仰と従順を持って応じた結果であります。

また、イエシュアの死と復活に対する信仰の実があります。この実は生まれ変わる事、罪意識からの解放、神の愛を経験すること、永遠の命を保証されること、福音を証することなどが含まれます。イエシュアは言いました。「人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は**多くの実を結びます。**」(ヨハネ 15:5)

さらに、悔い改めによる実があります。私はこれらを「悔い改めの七つの実」と名付けました。それはII コリント 7章にあるものです。「**ご覧なさい。神のみこころに添ったその悲しみが、あなたがたのうち、どれほどの熱心を起こさせたことでしょうか。また、弁明、憤り、恐れ、慕う心、熱意をを起こさせ、処罰を断行させたことでしょうか。**」(II コリント 7:11)

福音のメッセージは私たちに3つの呼応段階へと導かれます。悔い改めること、イエシュアを信じる事、そして聖霊を受け取る事です(**使徒 2:38**)。それぞれのレベルに対応する実があります。これらは似ていますが、その性質は異なるものです。

悔い改めの実は人の魂の能動的な呼応すべてに関わります。これは心の真剣な、エネルギーに満ちた変化なのです。これには人として、私たちの目的や意図すべてを要求するものです。悔い改めの実は霊の実とのバランスを形成します。霊の実は神の愛をより反映するものですが、悔い改めの実は神の神聖さをより反映させるものです。どうか両方を持つようにしましょう。

牧会の契約的なアプローチ

アシェル・イントレーター

この1年間、イスラエルにいる牧師は多くの攻撃を受けました。ある者は倒れ、ある者は傷つき弱体化しました。最近私はどのように牧師は強いられるのかと質問を受けました。以下は、私が有効だと信じる牧会の契約的なアプローチの3つの側面について紹介します。

チームワーク: どれほどその個人が豊かな賜物を持っていようとも、一人で行うにはあまりにもやらなければならないことが多すぎます。私たちは他の指導者と共に、チームで牧会を行う方法を編み出しました。それは、自身を押さえて他者の賜物と召命のために余地を与えることです。

訓練: 他の指導者と共にチームで働く必要があるだけでなく、私たちはより若い者の中から、または主にあってまだ若い人々の中から将来の指導者を訓練する必要があります。これには余地を作って自身を押さえるだけでなく、可能性を持つ人に対して忍耐と根気を持って投資しなければなりません。すぐには実を見ることはできないでしょうが、後に私たちが衰え始めると、前に出る準備が整った他者がいることになるでしょう。

教われやすさ: これは謙遜の別の言葉です。それは他者によって正されることを厭わないことであり、自分の間違いを認めることです。多くの霊的な指導者たちは、自分たちが常に正しいことを見せなければならないと思っています。そのような態度は痛恨の過ちに至り、不必要にダメージを与え、そして燃え尽きてしまいます。頑固であるよりも柔軟であることがよりうまくいくのです。

チームで働くこと、他者を訓練し、教われやすいことの難しさは、これらは多くの時間とエネルギーが必要だからです。何かを成し遂げるに、3、4倍もの時間がかかるのです。それは事実です。しかし、長い目で見ると、分かち合える、奉仕を倍増させることのできる友人グループを再生産させることになるのです。